

## 病院説明資料

- 1 病院名 医療法人尚寿会大生病院
- 2 所在地 埼玉県狭山市大字水野 6 0 0 番地
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 4 病棟

病床数（現在：2017 年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	92 床	261 床	353 床



(2025 年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	152 床	261 床	413 床

\* 今後変更の予定がある場合のみ記載

#### 4 主な連携医療機関

##### ・紹介元

埼玉石心会病院、入間川病院、圏央所沢病院、防衛医科大学病院、埼玉医大国際医療センター

##### ・紹介先

埼玉石心会病院、入間川病院、所沢中央病院、防衛医科大学病院、埼玉医大国際医療センター

#### 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
回復期リハビリ病棟	42 床	回復期	78 日	88.2%
診療科 内科・リハビリテーション科				
診療実績 ○回復期リハビリテーション病棟入院料 3 を取得。 ○急性期病院からの紹介入院と在宅医療からのリハビリテーション目的の入院に対応。 ○在宅復帰率：平均 83% 重症者割合：21% 重症回復率：65% アウトカム：41 人工透析患者の受入も可能である。治療後在宅復帰困難な患者に関しても療養病棟や老健施設、特養など対応できる体制である。				
医療連携における課題、問題点 ○アウトカムの導入で退院の適正化が進んでいる。 ○地域の医療機関や在宅支系のスタッフとの密な連携が課題である。 ○平均 10 数名の待機がある。（入棟期限がある為お断りもしている。）				
その他 ○将来の方向性：平成 30 年度の 7 期の公募で回復期リハビリ病棟の 18 床の増床を希望して待機患者の軽減を図る予定である。 ○現在の体制で対応できていない患者：重度の認知症と 20 才台等の若年性患者 重症疾患でリハビリが施行できない患者。				

## 病院説明資料

- 1 病院名 医療法人尚寿会大生病院
- 2 所在地 埼玉県狭山市大字水野600番地
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 4病棟

病床数（現在：2017年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	92床	261床	353床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	152床	261床	413床

\* 今後変更の予定がある場合のみ記載

#### 4 主な連携医療機関

##### ・紹介元

埼玉石心会病院、入間川病院、圏央所沢病院、防衛医科大学病院、埼玉医大国際医療センター

##### ・紹介先

埼玉石心会病院、入間川病院、所沢中央病院、防衛医科大学病院、埼玉医大国際医療センター

#### 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
地域包括ケア病棟	50床	回復期	45日	87.7%
<b>診療科</b>				
内科・リハビリテーション科				
<b>診療実績</b>				
○地域包括ケア病棟2を取得。				
○在宅・急性期病院からの緊急入院に対応。人工呼吸器や透析患者も受入し、超急性期を除いた多様の病態に対応をしている。				
○4月から7月平均				
看護必要度： 29      在宅復帰率： 77%				
認知症、せん妄の患者を3割以上対応している。（夜間看護加算を申請）				
<b>医療連携における課題、問題点</b>				
○ポストアキュート・サブアキュートの入院窓口として機能しており、夜間の緊急入院も対応している為、現状のベッド数では不足する日が増えてきている。				
○平均10数名の待機がある。				
<b>その他</b>				
○将来の方向性：当院は400床以上の病院である為、病棟を増やすことは出来ないで現状維持。超急性期を除いた多様な病態に対応し、断らない医療を実施している。				

## 病院説明資料

- 1 病院名 医療法人尚寿会大生病院
- 2 所在地 埼玉県狭山市大字水野600番地
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 4病棟

病床数（現在：2017年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	92床	261床	353床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	152床	261床	413床

\* 今後変更の予定がある場合のみ記載

- 4 主な連携医療機関

・紹介元

埼玉石心会病院、入間川病院、圏央所沢病院、防衛医科大学病院、埼玉医大国際医療センター

・紹介先

埼玉石心会病院、入間川病院、所沢中央病院、防衛医科大学病院、埼玉医大国際医療センター

- 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
療養病棟	206床	慢性期	728日	97.9%
診療科 内科・リハビリテーション科				
診療実績 ○急性期病院より療養目的の紹介患者、他の病棟又は在宅患者で在宅復帰が困難な患者を主に受け入れしている。 医療区分2・3を合わせて、常に95%を確保している。				
医療連携における課題、問題点 ○将来の方向性：透析や人工呼吸器等のニーズが高まってきており、待機が常に30件程度いる状態が続いておりベッドの不足が課題としている。				
その他 ○将来の方向性：地域包括ケア病棟が、平成30年4月の改定により、当院では1病棟のみしか申請できなくなった。その為在宅復帰を強化する療養病棟を平成30年度の7期の公募で42床増床希望している。				

## 病院説明資料

- 1 病院名 医療法人尚寿会大生病院
- 2 所在地 埼玉県狭山市大字水野600番地
- 3 病棟数及び病床数

病棟数 4病棟

病床数（現在：2017年病床機能報告）

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	92床	261床	353床



(2025年)

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
床	床	152床	261床	413床

\* 今後変更の予定がある場合のみ記載

#### 4 主な連携医療機関

##### ・紹介元

埼玉石心会病院、入間川病院、圏央所沢病院、防衛医科大学病院、埼玉医大国際医療センター

##### ・紹介先

埼玉石心会病院、入間川病院、所沢中央病院、防衛医科大学病院、埼玉医大国際医療センター

#### 5 病棟別診療状況

病棟名	病床数	報告区分	平均在院日数	病床利用率
特殊疾患	55床	慢性期	753日	98.5%
診療科 内科・リハビリテーション科				
診療実績 ○常に85%から90%の難病患者様に対応し、特にパーキンソン病等の神経難病が多く入院している。 ○胃瘻造設、気管切開、人工呼吸器使用者も入院しているが、神経難病の方々のターミナルケアがメインである。				
医療連携における課題、問題点 ○在宅で限界を迎えた難病患者様の受入窓口としても機能しているが、ベッドの空き状況により、迅速に対応できない場合がある。				
その他 ○将来の方向性 現状維持 ○現在の体制で対応できていない透析の患者は、療養病棟にて対応している。				

平成30年度埼玉県西部地域保健医療・地域医療構想協議会

# 2025年地域医療構想に向けた 対応方針

平成30年9月4日

医療法人尚寿会 大生病院

病院長 寶積 英彦



あさひ病院

大生病院

大生水野クリニック

老健愛

理念：信頼と愛とで築く地域医療

# 尚寿会グループ

- 大生病院 473床
- あさひ病院 300床
- 大生水野クリニック（在宅療養支援診療所）
- 老人保健施設 愛 100名定員
- サービス付き高齢者住宅 わが家 22名定員
- 特別養護老人ホーム 福寿の里 100名定員
- 訪問看護ステーション 在宅サポート21狭山
- 居宅介護支援事業所〈彩・所沢・入間〉
- 狭山市入曽・水野地域包括支援センター

# 大生病院の病床構成

- ベッド数 473床
  - 地域包括ケア病棟 50床
  - 回復期リハビリテーション病棟 42床
  - 医療療養病棟 206床
  - 特殊疾患病棟 55床
  - 精神療養病棟 120床

在宅療養後方支援病院



# 大生病院 診療実績

## 〈入院元〉

- PostAcute 52%
  - SubAcute 35%
  - その他 13%
- 
- 平均在院日数 191日
  - 病床利用率 93%
  - 一日平均外来患者数 184人

# 大生病院 地域包括ケア病棟

☞ PostAcute/SubAcuteの入院窓口として機能。  
人工呼吸器装着・人工透析の患者の受入れ。  
超急性期を除いた**多様な病態に対応**。

- 平均在院日数 45日
- 病床利用率 87.7%
- 看護必要度 29
- 在宅復帰率 77%
- 認知症/せん妄の患者受入 3割以上

# 大生病院 回復期リハビリテーション病棟

👉 重点的にリハビリテーションを施行し  
ADLの向上、**在宅復帰を主目標**とする。

- 平均在院日数 78日
- 病床利用率 88.2%
- 在宅復帰率 83%
- 重症回復率 65%
- アウトカム 41

# 大生病院 医療療養病棟

急性期病院より転院の上で、長期にわたり継続加療が必要な患者。在宅からの入院で、在宅復帰に時間を要する患者。人工呼吸器装着・人工透析の患者も受け入れている。

- ・ 平均在院日数 728日
- ・ 病床利用率 97.9%

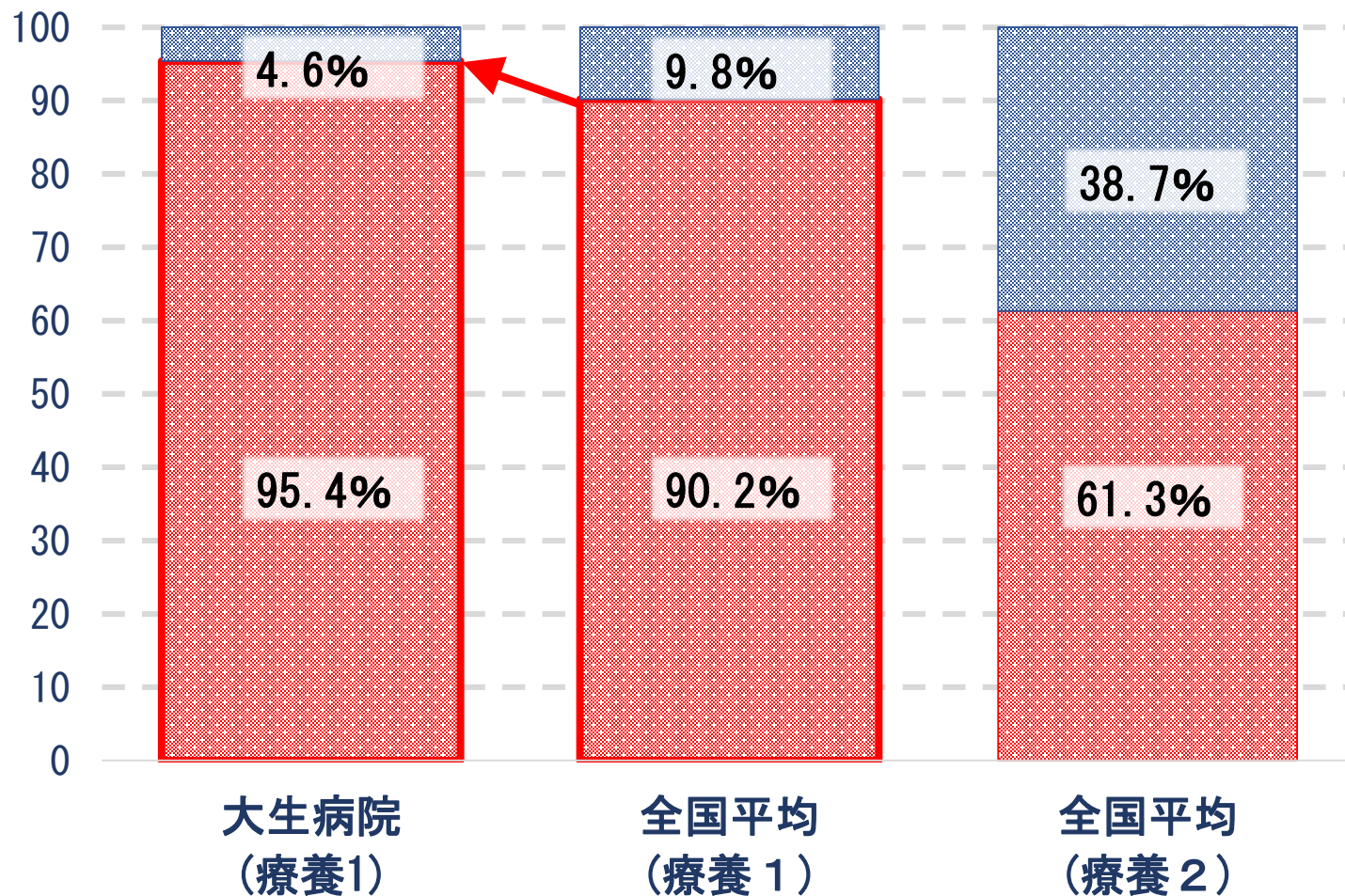
## 大生病院 特殊疾患病棟

- ☞ 主に神経難病患者のターミナルケアがメイン。
  - 平均在院日数 753日
  - 病床利用率 98.5%

## 大生病院 精神療養病棟

- ☞ 認知症患者が主であるが、うつ病・統合失調症の患者も受け入れている。
  - 平均在院日数 283日
  - 病床利用率 86.7%

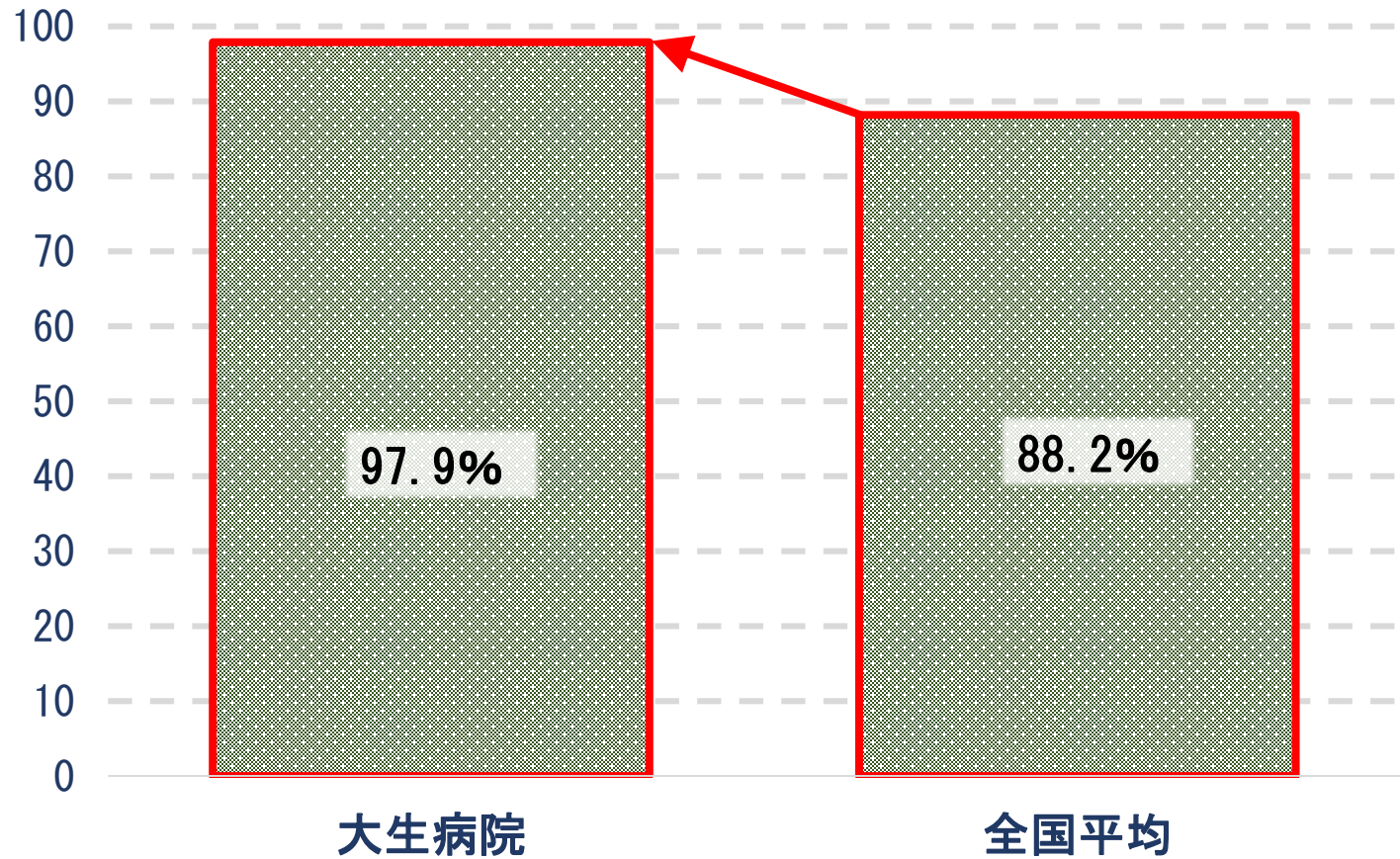
## 医療療養病棟入院患者の医療区分の割合



■ 医療区分2・3 ■ 医療区分1

出典：平成28年度入院医療等の調査

## 療養病床の病床稼働率



出典：厚生労働省 平成28年医療施設(動態)調査・病院報告の概況

# 平均待機患者数

	人数
医療療養 病棟	30名 程度
回復期 リハ病棟	10名 程度



# 2025年に向けた病床整備計画

高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
0床	0床	92床	261床	353床



高度急性期	急性期	回復期	慢性期	合計
0床	0床	152床	261床	413床

# 適切な地域包括ケアを具現化するための私たちのミッション

- ▶ 地域で急性期医療を担う医療機関の「縁の下  
の力持ち」であること。
- ▶ 重度の慢性疾患を有した患者を必ず受け入れること。
- ▶ 在宅医療で限界点を迎えた患者をきちんと受け入れること。
- ▶ 長期間を有しても、在宅復帰を望む患者の夢を実現し続けること。